

75歳以上の医療費



伊藤議員（左）と倉林議員（右から2人目）に署名を手渡す集会参加者＝2日、衆院第2議員会館

“受診抑制は明らか”

開会あいさつした中央社保協の山口一秀事務局長は「新型コロナウイルスの感染が拡大するなかで、高齢者の窓口2割負担化はあってはならない」と強調しました。

日本高齢期運動連絡会の武市和彦事務局長は「これまで2割負担の署名を集めました。過去最大を更新す

日本共産党の倉林明子副委員長・参院議員と伊藤岳参院議員が連帯のあいさつをしました。

75歳以上の医療費窓口負担2割化中止・撤回を求めて2日、国会要請行動が行われ、集めた6万63人分の署名を提出しました。主催は中央社会保障推進協議会（中央社保協）、全日本年金者組合、日本高齢期運動連絡会、全日本民主医療機関連合会（全日本民医連）の4団体。

開会あいさつした中央社保協の山口一秀事務局長は「新型コロナウイルスの感染が拡大するなかで、高齢者の窓口2割負担化はあってはならない」と強調しました。

2割負担撤回を

4団体 署名6万人分国会へ

る防衛予算など、国の税金の使い方の転換を求めていかないといけない」と訴えました。

全日本民医連の久保

田直生常駐理事は民医連が行った全国の困窮

事例調査を紹介。「医

療機関にかからなかっ

た理由に窓口負担の支

払いが困難とするケー

スが数多くあった。2

割負担が導入されれば

受診抑制が起こること

は明らか」と撤回を求

めました。